

全国被災地語り部 熊本宣言

私たち「被災地語り部」は全国・海外から熊本地震被災地、熊本県熊本市に集い自らの経験を伝え、意見を交換し、現状と課題これからの取組について語り合いました。

閉会にあたり、誰もが「語り部(KA-TA-RI-BE)」であり、このシンポジウムで得た知見を「減災」への力とし、多世代、社会へ伝えることをここに宣言します。

1. 私たちは、地域の歴史を学び、年月の経過とともに風化する災害の記憶を多様な形で伝え、残し、未来に活かすために実践します。
2. 4回のシンポジウムで広がった全国・海外の被災地間の交流を深め、ゆるやかなネットワークを一層広げていきます。交流により各地の災害、それぞれの語り部活動を理解することで、自らの活動の学びとします。
3. 被災の経験から復旧・復興へ向かうステージに沿った語り部活動を進めます。

被災地語り部として、時代・社会にあわせて、映像、写真、文字、歌、多言語、webなど新たな発信方法を工夫した活動を展開します。

第4回全国被災地語り部国際シンポジウム in 熊本

熊本市民会館において

2018年12月8日